

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスWING下原		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日		～ 令和7年3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な支援体制の充実 専門知識や経験を持つ職員を配置し、個別の支援計画を作成・実施することで、児童一人ひとりのニーズに応じた適切な支援を提供しています。	職員の専門性を高め、質の高い支援を提供するため、定期的な研修や勉強会を開催しています。これにより、最新の知識や技術を習得し、利用児童への支援の質を向上させています。	職員の専門性向上のための継続的な研修実施。外部の専門家を招いた特別な研修会の開催や、他の施設とのネットワーク強化を行い、スタッフの専門性を深める。
2	個別支援計画に基づく療育の充実 事業所では、お子様一人ひとりの特性やニーズを考慮した個別支援計画を策定し、それに基づいて療育を実施しています。この取り組みは、お子様の成長や発達に寄与し、支援の質を高めるために不可欠な要素となっています。	お子様一人ひとりの特性やニーズに応じて、個別支援計画を作成し、定期的に見直しを行うことで、常に最適な支援が提供できるようにしています。これにより、お子様の成長や変化に対応した支援が行われます。	個別支援計画の策定や実施にあたり、保護者や学校、医療機関などの関係者との情報共有と連携をとり定期的な面談や会議を通じて、支援方針や進捗状況を共有し、必要な調整や支援の質の向上を図ります。
3	保護者様との連携強化 保護者様との面談を通じて、家庭での状況やお子様の変化を把握し、個別支援計画に反映させることに力を入れています。さらに、療育計画についてのフィードバックを保護者様から受け、その意見をサービス提供に活かす体制を整えています。	保護者様との連携を深めるため、連絡帳や送迎時のフィードバックを活用し、情報共有を積極的に行っています。これにより、家庭と事業所が一体となって児童の支援に取り組む体制を整えています。	保護者様との定期的な面談を実施し、お子様の進捗状況や家庭での支援方法について情報共有を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や外部との連携不足	地域の他の支援機関や関係者との接点が少ないため、連携を深める機会が不足しています。また、地域とのネットワーク作りが後回しになってしまっている部分もあります。	医療機関、学校などと定期的な連絡を取り地域資源の活用を積極的に進めます。地域のイベントや会議にも参加し、事業所の存在を広く知ってもらうよう努めます。
2	活動スペースの制約	事業所内のスペースが限られており、複数のグループが同時に活動できるスペースを確保することが困難です。	近隣の公共施設やスポーツ施設などを活用して、外部の広いスペースを利用することを検討します。これにより、施設内での活動スペースの制限を補い、お子様の活動の幅を広げることができます。
3	個別支援時間の不足	事業所内での活動時間の配分において、集団活動が多く、個別支援の時間が少なくなる日がある。特に、学校登校日は個別対応の余裕がなくなる場合がある。	事業所内での活動時間の配分を見直し、集団活動と個別対応をバランスよく取り入れるようにしています。個別支援が十分に行えるように、職員の増員やシフト調整を行い、個別対応に十分な時間を確保できるようにします。